

平成25年3月13日

## お知らせ

資料提供先：鳥取県政記者クラブ  
鳥取市政記者クラブ

# 防災・減災に関するソフト対策を推進するための 施策について

3月19日に千代川流域圏会議会長から鳥取市長に提言します

近年の地球温暖化に伴う気候変動の影響として、水災害の頻発・激甚化が懸念されています。このような中で、千代川流域圏会議では「気候変動にともなう防災・減災を考える会」（以降 分科会という。）を設立し、水災害に対して「犠牲者ゼロ」に向けたソフト的な対策を検討し取組を行ってまいりました。

分科会では実践又討議により、取組むべき課題と、拡充・継続するための課題を整理し、各々、具体の施策として12項目の具体案をとりまとめ千代川流域圏会議に報告しました。

この度、千代川流域圏会議では、この分科会でのとりまとめを推進・普及するために、行政、地域の防災関係者に広めることが必要との提案から、「防災・減災に関するソフト施策を推進するための施策について」千代川流域圏会議道上会長から鳥取市長に提言します。

日 時：平成25年3月19日（火） 14：00  
場 所：鳥取市役所 第一応接室

### 問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 鳥取河川国道事務所  
TEL：0857-22-8435(代) FAX：0857-29-8548

副所長（河川） いぬやま 犬山 ただし 正

【担当】 防災課長 ふくむら 福村 まこと 誠

河川管理課長 いしはら 石原 あつお 淳男

鳥取河川国道事務所ホームページアドレス  
<http://www.cgr.mlit.go.jp/tottori/>

○千代川流域圏会議

設 立 平成9年12月12日

会 長 鳥取環境大学 道上理事

千代川流域圏会議は、千代川を軸として流域の交流・連携を図り、地域活性化への取り組みを通して豊かなふるさとを創造することを目的に、流域住民と行政が一体となって創設され、「会議の趣旨に賛同する者が、行政・民間、団体・個人を問わず、自らの意志で参加する」会議です。

○気候変動に伴う防災・減災を考える会（千代川流域圏会議分科会）

設 立 平成22年7月26日

委員長 鳥取大学大学院工学研究科 檜谷教授

千代川沿川住民の水災害における自主防災意識(自助・共助)の向上を図り、官民一体となって「犠牲者ゼロ」に向けた取組を推進していく。

平成22年度より3年間計8回の分科会を開催し検討を進めたほか、富桑、大正、明德地区を実践のモデル地区とし支援を行った。

分科会の主な取組（防災講演会・防災フォーラム、地域防災マップ作成支援、コンビニ・道の駅を活用した情報伝達基地、まるごとまちごとハザードマップの設置支援等）

# 式 次 第

1. 千代川流域圏会議会長より鳥取市長へ提言書の提出・・・14:00～14:05
2. 提言書内容説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14:05～14:15
3. 鳥取市長挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14:15～14:20
4. 意見交換・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14:20～14:25

配席表

千代川流域圏会議

会 長 ○

鳥取河川国道事務所

所 長 ○

○ 鳥取市長



入口

# 防災・減災に関するソフト対策を 推進するための施策について

---

平成25年 3月 19日

千代川流域圏会議

# 気候変動にともなう防災・減災を考える会 (千代川流域圏会議・分科会)の目的、活動経過

## 分科会の目的(平成22年度設立)

- ・近年、全国的に気候変動によると考えられる大規模な水災害が頻繁に発生
- ・千代川流域においても、集中的な降雨、潮位の上昇傾向等が見られ、水害リスクの上昇が今後とも懸念される
- ・このため、官民一体となって水災害に対する「犠牲者ゼロ」に向けたソフト的な取り組みを推進するため、本分科会を設立

### 分科会構成メンバー

【委員長】 鳥取大学大学院教授

【委員】(12名)

鳥取大学、鳥取地方气象台、鳥取県、鳥取市

日本赤十字社、鳥取市消防団長

鳥取市自主防災連合会会長、富桑地区代表

明德地区代表、大正地区代表

郵便局(株)、鳥取河川国道事務所

【オブザーバー】(2名)

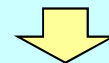
千代川流域圏会議会長、鳥取大学大学院教授

## 分科会の活動経過

平成22年度(4回開催)

千代川における気候変動に対するソフト対策の検討

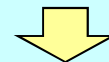
- 気候変動にともなう水害リスク増大の把握
- 住民の防災意識アンケート調査の実施 等



平成23年度(2回開催)

モデル地区におけるソフト対策の実施と支援

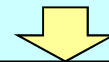
- モデル地区(富桑、明德、大正地区)の取り組みへの支援
- 防災学習会、防災講演会の開催
- 防災学習ツールの作成 等



平成24年度(2回開催)

ソフト対策を継続するための仕組みづくりの検討

- 住民の防災意識追跡アンケート調査の実施
- 防災フォーラムの開催
- 被災地への現地視察と意見交換会の実施 等



防災・減災に関するソフト対策を推進するための施策(提言)

# 防災・減災に向けて取り組むべき施策

## 1. 防災意識の啓発

### (1) 防災学習会等の開催

- ・防災学習会、防災講演会、被災体験者との意見交換会を継続して開催



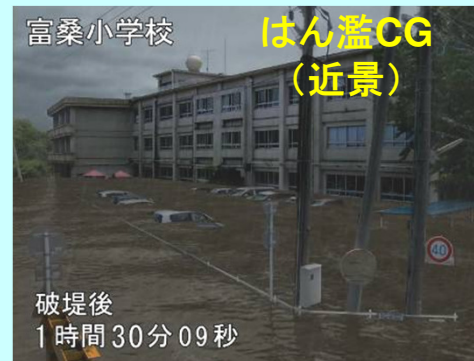
### (3) 水害時の被災体験の伝承

- ・千代川で発生した過去の水害時の写真や映像を学習ツールとして利用
- ・若い世代や子供たちに水害発生時の被災体験を伝承



### (2) 防災学習ツールの開発・改良

- ・住民の防災意識を高められる学習ツールを開発
- ・既存の学習ツール(クロスロードゲーム、はん濫CG等)を改良



あなたは避難所運営委員です。

避難所の小学校には、700人を超える人が集っていますが、その2割程度の人しか水や食糧を持っていません。小学校の備蓄は水だけで、明朝まで食糧は届けられないとことです。あなたは、食糧を持っている人に、みんなに分けるように頼みますか？

**YES** (分けるように頼む)

or

**NO** (頼まない)

クロスロードゲーム



防災ビンゴ

# 防災・減災に向けて取り組むべき施策

## 2. 地域コミュニティの強化

### (1) 地域防災マップの作成支援

- ・自主防災会が主体的に地域防災マップを作成できるよう、積極的に支援



まち歩き



マップ記載内容の確認

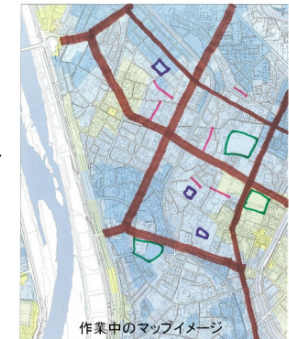
### (2) 地域防災マップ作成マニュアルの作成・改良

- ・自主防災会等が主体的かつ持続的に地域防災マップを作成・改良していけるよう、防災情報を提供

#### 6. マップ(案)の作成

##### 6.4 「まちづくり」を確認しよう

- ① 指定避難所  
・鳥取市から指定されている避難所を「緑色」で囲みましょう。
- ② 道路  
・安全な避難路を把握するため、主要道路、幹線道路を「茶色」でなぞりましょう。  
・避難の困難度を把握するため、狭い道路(幅2m以下)、路地を「ピンク色」でなぞりましょう。
- ③ オープンスペース  
・一時避難場所を選定するため、広場、公園、学校(グラウンド)、神社、空き地などのオープンスペースを「黄緑色」で囲みましょう。
- ④ 鉄筋コンクリート構造物  
・ビル、マンションなど、浸水時に逃げ込むことができる建物を「紫色」で囲みましょう。



##### 6.5 「水害危険箇所」を把握しよう

- ① 河川、水路  
・浸水開始場所、避難経路上の危険箇所を把握するため、河川、水路などを「青色」でなぞりましょう。
- ② 浸水想定区域  
・ハザードマップに示されている浸水想定区域を「青色」で囲みましょう。
- ③ 過去に浸水した場所  
・過去に浸水した場所を「水色」で囲みましょう。
- ④ その他の危険箇所  
・その他、水害時に危険と思われる場所(アンダーパス、窪地等)に「赤色●」シールを貼りましょう。また、その理由を付せん紙に書いて貼りましょう。



ここに書いていないことでも、気づいたことはどんどん書き込んでいきましょう。





# 防災・減災に向けて取り組むべき施策

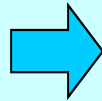
## 3. 分かりやすい防災情報の提供

### (1) CCTV監視カメラのライトアップ

- ・ライブカメラに照明を設置することにより、夜間でも水位監視が可能



夜間は川の様子がはっきりわからない



ライトアップを行うことにより、水位の状況が見やすくなる

### (3) 行政間情報伝達検討会の開催

- ・より分かりやすい防災情報の提供について検討を行うため、検討会等を実施して情報共有

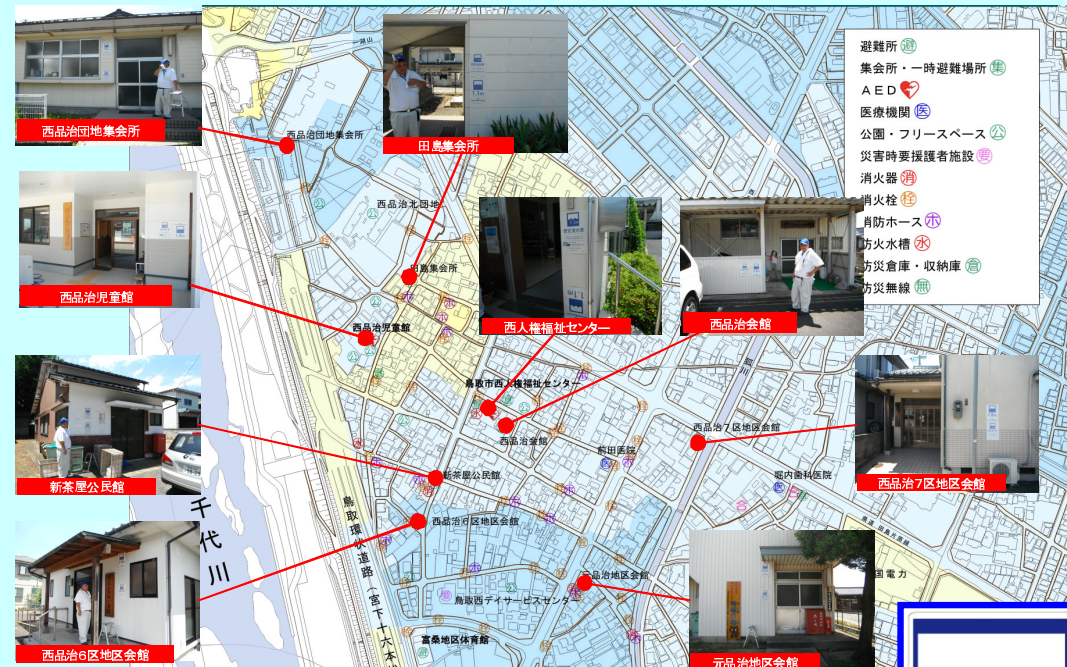
#### 【構成メンバー】

鳥取地方気象台 鳥取県 鳥取市  
鳥取河川国道事務所  
NHK鳥取放送局  
日本海ケーブルネットワーク



### (2) まるごとまちごとハザードマップの整備

- ・地域に想定浸水深や避難場所の位置等を示した看板を設置
- ・予め危険箇所を周知



富桑地区看板設置箇所



# 防災・減災に向けて取り組むべき施策

## 4. 情報伝達手段の整備

### (1) 警報音や照明を用いた災害時の特別な情報伝達

- ・災害時、住民に危険を分かりやすく知らせるために、回転灯、サイレン等を用いた水位情報伝達設備を整備



### (2) 水位・雨量データの住民への提供

- ・NHKのデータ放送を用いるなどして、住民にリアルタイムの水位、雨量データを提供



## 5. 避難方法の確立

### (1) 民間企業等と連携した避難所の確保

- ・高層ビルを所有する民間企業等と連携して、避難所を確保



明德地区と水害時の一時避難所として協定を交わしている民間5事業所

# 取り組みを拡充・継続するための施策

## 1. 千代川流域圏会議の活用

- ・既存の千代川流域圏会議と住民連携会議、行政連絡会議が連携し、自主防災会等の活動を行政が連携して支援
- ・防災・減災に関する取り組みの活動報告を千代川流域圏会議に対して定期的実施

## 2. 住民連携会議の立ち上げ

- ・既存の自主防災会連合会を活用し、自主防災会と小中学校から構成する住民連携会議を設立
- ・自主防災会同士の情報共有や小中学校との合同訓練など、住民相互並びに行政と連携

## 3. 小・中学生に対する防災教育

- ・教育委員会と連携し、小・中学生を対象とした防災に関する教育プログラムを開発
- ・計画的に防災教育を行うことにより、災害時要援護者の支援の担い手を育成



東日本大震災では、釜石市の小中学生が率先して避難を実施

## 4. 行政と連携した住民主体の防災学習会の実施

- ・効果的な学習ツールの提供、防災コーディネーターの派遣等により、自主防災会等が住民主体の防災学習会を実施できるよう支援



# 取り組みを拡充・継続するための施策

## 5. 行政による防災リーダー研修会の実施

- ・防災リーダー育成のため、毎年、防災リーダー研修会を実施

## 6. 地域における防災・減災活動のマスメディアを通じた広報

- ・行政とマスメディアによる連携した広報を行い、より多くの人に防災活動に関する情報を提供
- ・自主防災会の活動に参加する地域、世代を拡大



地域が協働して防災訓練を実施

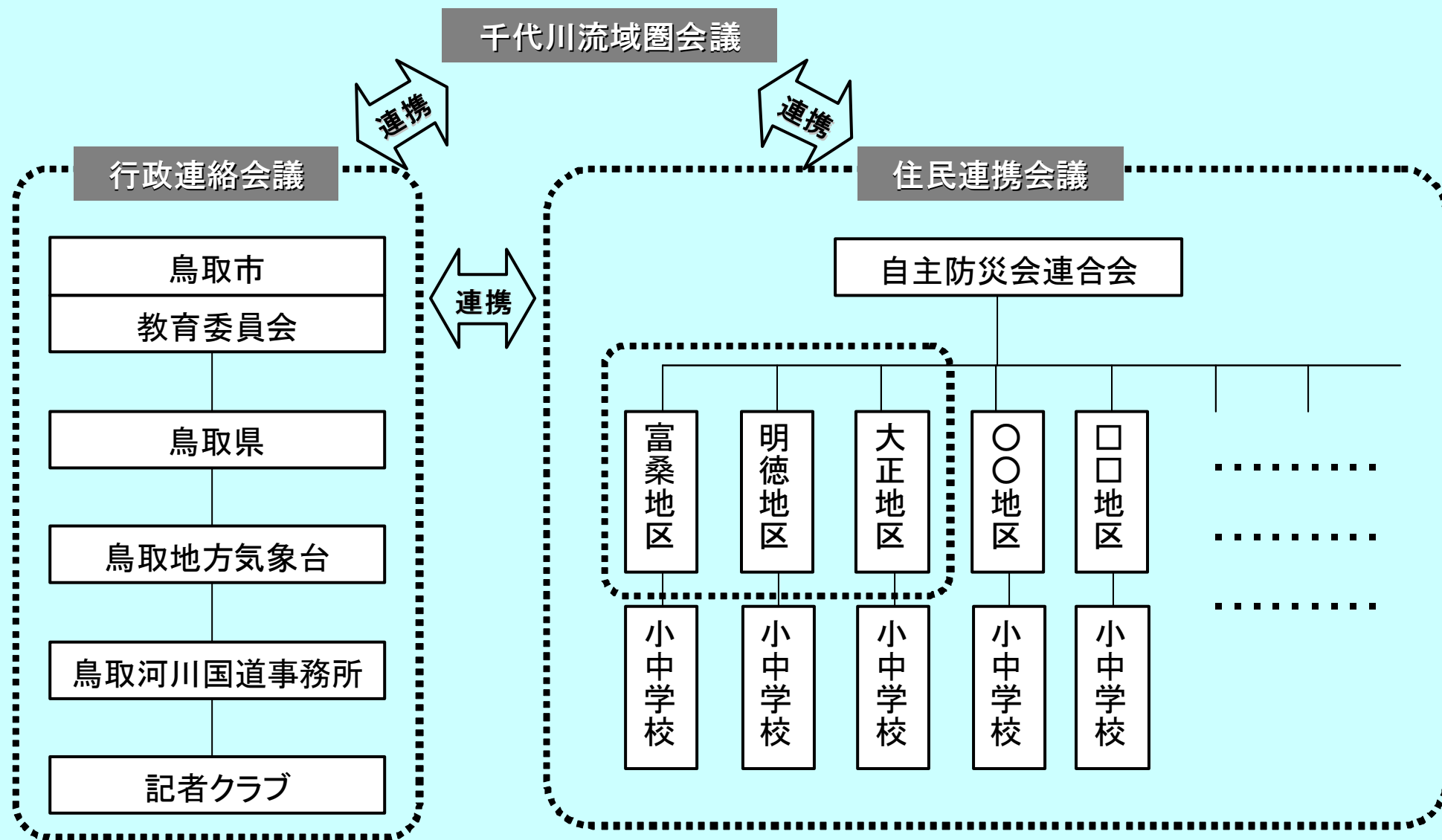
## 7. 地域住民のコミュニケーション強化のための地縁活動支援

- ・自治会と学校PTAの連携した地縁活動を支援し、小・中学生に対する防災教育を実施
- ・家族を含めた広い世代による防災活動を支援



小学生を対象とした防災学習会

# 取り組みを拡充・継続するための施策(参考 イメージ図)



取り組みを拡充・継続するための体制

# 千代川流域圏会議 委員名簿

千代川流域圏会議 会員名簿	
	アイウエオ順
氏 名	役 職 等
(学識経験者)	
安藤 重敏	鳥取市立湖南学園 校長
尾崎 繁	鳥取大学 名誉教授
小谷 寛	(有)亀甲や 代表取締役
作野 友康	鳥取大学 名誉教授
鶴崎 展巨	鳥取大学 地域学部 教授
檜谷 治	鳥取大学大学院 工学部 教授
道上 正規	鳥取環境大学 理事
八百谷 和子	鳥取環境大学 非常勤講師
山本 晴恵	鳥取県生物学会 幹事
吉田 幹男	(株)地域デザイン研究所 所長
(活動団体)	
栗嶋 道和	袋川をはぐくむ会 会長
池原 範雄	鳥取市自治連合会 会長
伊藤 美都夫	(社)鳥取県緑化推進委員会 理事長
景山 一夫	鳥取県漁業協同組合 代表理事組合長
黒田 敏博	郵便局(株) 因幡地区連絡会統括局長
清水 昭允	鳥取商工会議所 会頭
柴原 史則	(社)鳥取青年会議所 副理事長
寺坂 邦雄	杉の雫・吟醸の会 会長
中村 顕	NPO法人八東川清流クラブ 理事長
西川 博昭	千代川漁業協同組合 代表理事組合長
長谷川 浩司	鳥取カヌークラブ代表
浜辺 正篤	鳥取自然保護の会 会長
福田 紀生	NPO法人 日本野鳥の会 鳥取県支部長
藤田 充	NPO法人 賀露おやじの会 理事長
前橋 登志行	智頭町親水公園連絡協議会 会長
山崎 健一	構袋ホタルの会 会長
山田 幸夫	狐川を美しくする会 会長

(行政機関)	
古賀 俊行	鳥取県 県土整備部長
小林 昌司	若桜町長
斎藤 明彦	鳥取県 東部総合事務所長
塩永 博信	林野庁 鳥取森林管理署長
杉本 邦利	鳥取市水道事業管理者 水道局長
竹内 功	鳥取市長
田中 衛	国土交通省 鳥取河川国道事務所長
寺谷 誠一郎	智頭町長
西山 信一	鳥取県 農林水産部長
平木 誠	八頭町長
山口 秀樹	鳥取県 八頭総合事務所長

# 「千代川流域圏会議」「気候変動にともなう防災・減災を考える会」 委員名簿

## 気候変動にともなう防災・減災を考える会 委員名簿 (千代川流域圏会議・分科会)

氏名	役職等	備考
檜谷 治	鳥取大学大学院工学研究科 教授	委員長
土井康作	鳥取大学 地域学部 教授	
谷永 守	鳥取地方気象台 防災業務課長	
丸毛 裕治	鳥取県 県土整備部 河川課長	
松下達夫	鳥取市 防災調整監 危機管理課 参事	
尾田 一壽	日本赤十字社 鳥取県支部 事務局長	
西村 育雄	鳥取市消防団 団長	
武田 恭明	鳥取市自主防災会連合会 会長	
谷口 聡	富桑地区防災・防犯連絡協議会 副会長	
山根 洋治	鳥取市自主防災会連合会 明德地区評議員	
前田 誠	鳥取市自主防災会連合会 大正地区評議員	
馬場崎 仁	郵便局株式会社 八東郵便局 局長	
犬山 正	鳥取河川国道事務所(河川)副所長	
道上 正規	鳥取環境大学 理事	千代川流域圏会議 会長 オブザーバー
栢見 吉晴	鳥取大学大学院工学研究科 教授	平成24年度より オブザーバー